広島県・世羅町議会

議会だよりせら

～ あなたと議会のコネクトブック ～

2025
11.15
No.87



トピック　P2 特集　決算審査
今と昔を比べてみよう！

UD FONT 分かりやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。

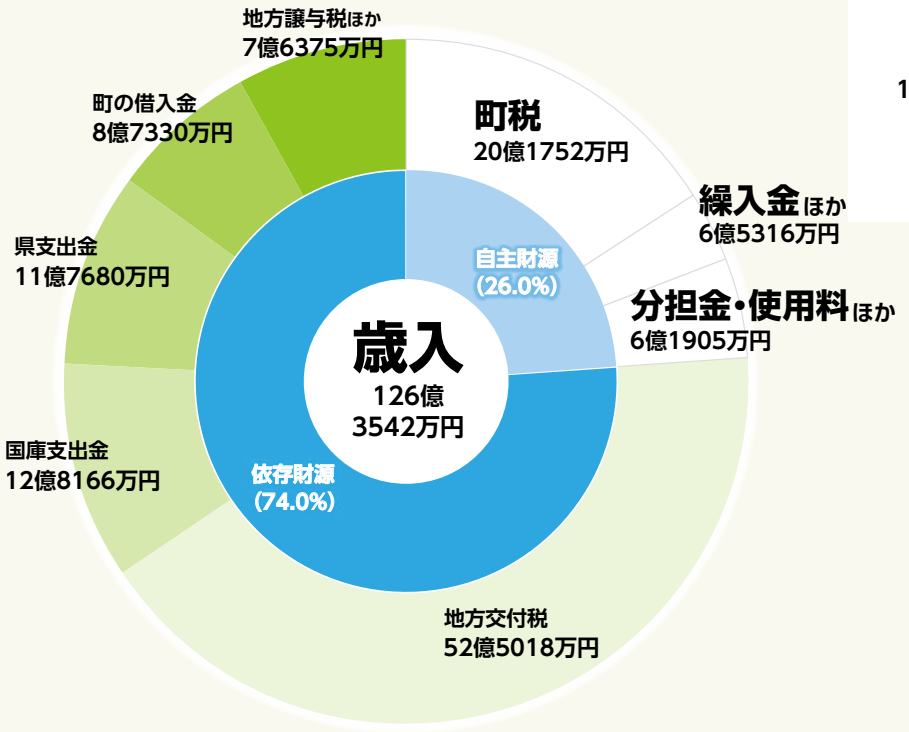
特　集
決算審査

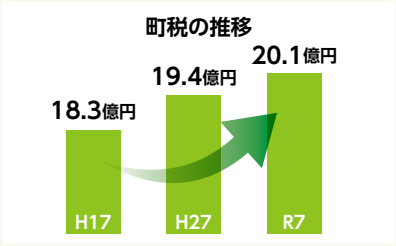
令和７年度 決算を認定

決算審査特別委員会は９月14日と15日の２日間、令和７年度の一般会計・４つの特別会計・公共下水道事業会計の６会計を審査しました。審査の結果、６会計すべてを賛成多数で認定すべきものと決定し、３項目の附帯意見を付しました。

歳入

歳入は、自主財源と依存財源に分かれます。主な自主財源は町税ですが歳入の約16％です。地方交付税など依存財源が74％を占めています。



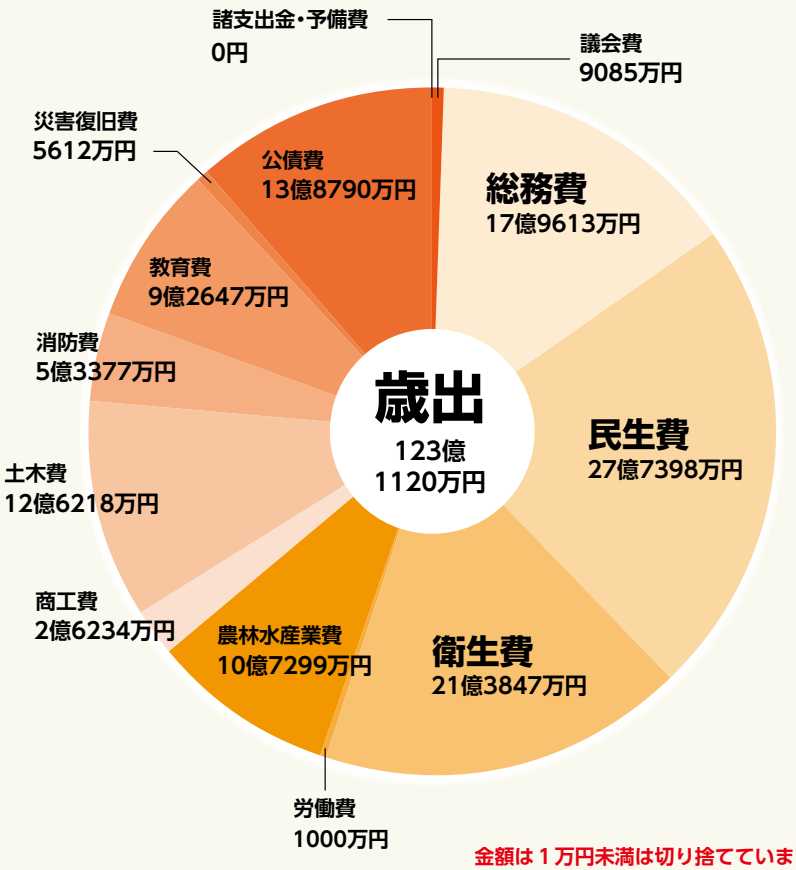


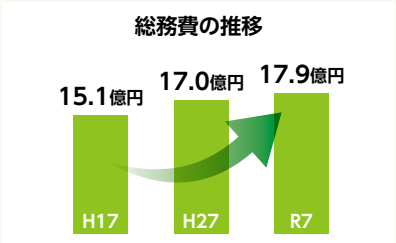
町税

町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税など、皆さんに納めていただいている税金です。将来的には人口減少にともない、減少が予測されます。

歳出

歳出は、総務費、民生費、衛生費の支出が多くなっています。主な要因は、人件費の上昇や福祉の充実、ごみ処理関連によるものです。今後も事業の必要性と費用対効果を踏まえた適切な財政運営が求められます。





総務費

人事・企画・財政・徴税・選挙など、町の総括的な事務事業に使うお金です。事業の執行状況で費用の増減が発生します。職員数は２／３程度に減少していますが、ＤＸ化で新たな費用も発生しています。

Ｒ７年度　主な使い道

■一般管理費	７億 2251 万円
■ＩＴ管理費	３億 405 万円
■自治センター費	１億 3078 万円

金額は１万円未満は切り捨てています。



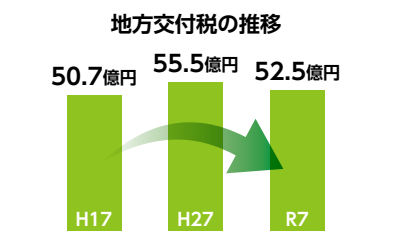
せら坊 ©世羅町

何に使った

一般会計歳出
123億1120万円

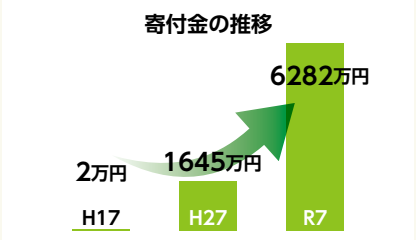
（前年比 2億3120万円減）

※令和７年度決算書の数値をもとに作成しています。



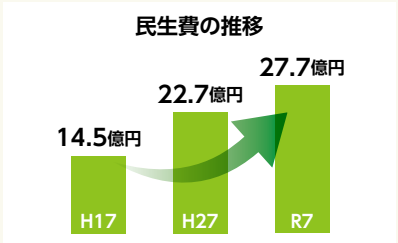
地方交付税

全国の地方自治体が、一定水準の行政サービスができるよう、また、地域間の財政力格差を減らすためのお金です。世羅町では自主財源が少ないため、交付税に大きく依存しています。



寄付金

地域の福祉、教育、文化、環境保全などのための一般寄付、企業が自治体の事業や地域振興などを支援するために行う寄付、被災した自治体などに行う寄付、最近では、一定の条件を満たすと、所得税・住民税の控除を受けられるふるさと納税などがあります。

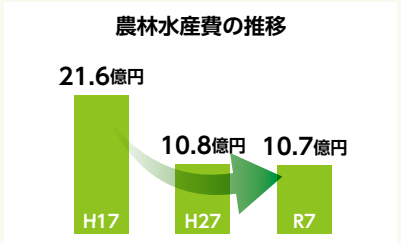


民生費

老人・障害者・児童などに対する福祉費や生活保護費など、社会的に弱い立場にある人々を支援するためや、保育所運営費など子育て支援に使われています。20年前に比べて大きく上昇しています。

R７年度　主な使い道

- 障害者福祉費　７億 7432 万円
- 児童福祉費　11 億 910 万円
- 保育所運営費　６億 53 万円



農林水産業費

農業や林業に関する行政サービスを行います。農業費では、農業振興施設や農道、水路の整備、農産物の販路拡大、農地の維持・有効活用、林業費では、森林整備・間伐などに使われます。合併前後は、国営・県営の大型事業も多く、大きな予算が組まれていました。

R７年度　主な使い道

- 地域農政推進費（中山間・多面的など）　３億 8869 万円
- 農業振興費　１億 7662 万円
- 林業振興費　１億 700 万円

歳入総額（一般会計）
126億3542万円（前年度比 2.3%減）

歳出総額（一般会計）
123億1120万円（前年度比 2.1%減）

実質収支（一般会計）
2億9443万円（黒字）

不用額（一般会計）
2億8511万円（対予算比 2.2%）
不用額…予算に計上したが、使われずに残った額

令和７年度の歳入総額は前年度比 2.3% 減、歳出総額は 2.1% 減となりました。一般会計の実質収支は２億 9400 万円の黒字でした。

一方、財政調整基金の取り崩しなどを加味した実質単年度収支は1億 900 万円余の赤字で、経常収支比率は 95.2% と前年度から 1.8 ポイント上昇しました。経常収支比率と財政調整基金の取り崩しについては、複数の委員から質疑がありました。

委員長　コメント

経常収支比率の高止まりや財政調整基金への依存など、町財政は厳しさを増しています。不用額や事業成果を検証して次年度予算に生かし、物価高騰の中でも町民の暮らしを最優先とした持続可能な財政運営を求めます。



予算審査特別委員会
福永貴弘委員長

令和７年度　注目事業

医療相談アプリ 相談件数 325件

満足度は５点満点で4.75



医療相談アプリ運用業務

決算額 51万7000円

担当課 子育て支援課　**新規**

15歳までの子どもがいる世帯を対象に、24時間オンラインで医師に健康や医療の相談ができる専用アプリを導入しています。

質疑 Pick up!

Q　登録者数の目標80%に対し、実績は25%だった。目標達成のための手立ては。

A　母子健康手帳の交付時などにアプリのダウンロードを案内しています。必要な人に届くよう広報にも努めます。

進学祝金　給付人数 113人

対象者全員に給付



進学祝金 決算額 339万円

事業の詳細は町ホームページへ

担当課 子育て支援課　**新規**

中学校進学時に必要となる制服などの購入の負担を減らし、子育ての経済的負担を軽くするための祝金。所得制限は設けておらず、全家庭が対象。申請の９割は電子申請でした。

質疑 Pick up!

Q　利用状況や、何に使われたのかを把握していますか。

A　電子申請に合わせてアンケートを行っている。使い道は制服、学校の諸経費、部活動用品の購入の順に多く、「とても助かった」との声をいただいています。

スポーツ用具購入補助金　補助件数 114件

小学生87件・中学生27件



スポーツ用具購入補助金

決算額 56万3200円

事業の詳細は町ホームページへ

担当課 社会教育課　**新規**

町内の小・中学生が使うスポーツ用具の購入費を、児童生徒１人あたり１回限り最大5000円補助する。令和７年度の新規事業。種目別ではサッカー48件、野球21件、バスケットボール18件の順でした。

質疑 Pick up!

Q　利用状況と、事後アンケートの結果は。

A　補助した 114 件のうち、既にスポーツをしている児童生徒が 102 人 (89%)、この事業をきっかけに始めた児童生徒が 12 人(11%)、意欲が上がったとの回答が 57 件、家族のつながりが深まったが 20 件、他者との関係が広がったが 37 件ありました。





せら坊 ©世羅町

小学校の通学バス　運行コース

15コース

４業者と契約して運行



通学バス運行委託（小学校）

決算額 **1億317万566円**

担当課　学校教育課

町内の小学生が通学に使うバスを、４業者と契約して全15コースで運行している。バス委員・学校・運行業者が連携して、円滑に運行できました。

今後の方針（主要施策の成果報告書より）

児童が安心して安全に通学できるよう、バス停やダイヤの調整を丁寧に行い、各校のバス委員や学校と連携して、引き続き円滑な運行に努めます。



世羅高校入学者

115人

前年比19人増



世羅高校教育環境支援事業

決算額 **899万7220円**

事業の詳細は町ホームページへ

担当課　企画課

世羅高校の入学者を増やすため、町が生徒確保の取組みを支援しています。

質疑 Pick up!

Q　世羅高校への支援内容と効果は。

A　通学費助成（68人）やSuper世羅塾運営、検定料助成など計899万7220円を支出しました。令和８年４月の入学者数は115人（前年度比19人増）でしたが、目標の130人には届いていません。県外からの入学者は1人でした。



空き家バンクの成立件数

4件



移住・定住促進費

決算額 **1725万円**

事業の詳細は町ホームページへ

担当課　企画課

空き家バンクを通じて空き家を購入する方などに、最大80万円を補助しています（移住者住宅支援事業補助金）。空き家バンクに登録する空き家の家財整理には、１件最大10万円を補助します。

質疑 Pick up!

Q　移住定住の取組みの実績は。

A　移住者住宅支援事業補助金は９件（新築６件・空き家購入３件）交付され、29人が世羅町に移住しました。一方、空き家バンクの成立件数は目標16件に対し実績４件（達成率25％）です。

農業経営収入保険への加入

115件



物価高騰対策・農業経営収入保険助成事業

決算額 **648万2000円**

担当課　産業振興課

町内農業者の保険料の一部を補助することで、物価高騰などによる経営リスクを軽減する支援制度です。

質疑 Pick up!

Q　農業経営収入保険への補助の実績は。

A　国費100％の事業で、保険料の２分の1（上限30万円）を補助するもので、令和７年度は115件交付しました。



スマート農業機械の導入

約800万円増

前年度比



農林業振興対策事業補助金

決算額 **4320万円**

担当課　産業振興課

農林業の振興や担い手育成、里山整備などを支援する町独自の補助制度です。

質疑 Pick up!

Q　農林業振興対策事業補助金が増えた理由は。

A　活用件数が３件増えたことに加え、スマート農業機械の価格上昇が主な要因です。



畜産費

約844万円増

前年度比



畜産振興費（家畜診療所運営負担金・畜産環境対策支援事業ほか）

決算額 **1900万円**

担当課　産業振興課

畜産農家を支えるために行う家畜診療体制の維持と環境対策支援などの事業です。主に家畜診療所の運営負担や、ふん尿処理など畜産環境の改善に関する経費を支援する事業です。

質疑 Pick up!

Q　畜産費が当初予算（2743万円）より減った理由は。

A　家畜診療所の運営負担金が改定により下がったことや、臭気対策の補助対象事業者が２社から１社に減ったことが当初予算より減った理由です。



せら坊 ©世羅町

令和７年度決算

討論

賛成　田原　賢司 議員

実質単年度収支は１億930万円の赤字でしたが、前年度と比べ３億円余り圧縮されました。厳しい財政環境の中で、町税収納率は広島県内で最高位を維持し、収入未済額や不納欠損額も減少。債権管理や収納対策の成果を高く評価します。経常収支比率は95.2％に上昇しましたが、実質公債費比率、将来負担比率は低下。教育の人件費を削ることなく、子どものための予算を振り分ける努力も評価します。公有財産の整理活用、不用額の縮減、債権管理体制の連携強化など、監査委員の指摘を町政運営に反映することを期待し、一般会計決算認定に賛成いたします。

反対　矢山　靖 議員

子どもの体験活動や鳥獣被害対策、医療相談アプリ、出産祝い金など評価できる取組みがある一方、実質単年度収支は１億930万円余りの赤字で、３年連続の赤字となりました。財政調整基金から１億6900万円を取り崩し、経常収支比率も95.2％まで上昇しています。現場の声を聞き、利用実績や成果を検証することが必要です。「予算を執行した」ことが成果ではありません。町民の大切な税金だからこそ成果を確かめ、住民が活用できる制度にしていく。「数字の向こうに住民の暮らしを見る」立場で、住民本位の町政を求め、一般会計決算認定に反対いたします。

賛成多数で認定

監査委員による決算審査意見

不納欠損処分の状況

徴収できなくなった税などは240万9099円。現状のような早期の収納対策を継続されることが望まれます。

不用額の状況

不用額（予算を使わずに残ったお金）は、一般会計２億8512万円余、特別会計１億9558万円余。適切な予算管理が必要です。

収入未済額

期限までに納付されていないお金は、一般会計4382万3590円、特別会計2781万4440円。年々、減少傾向にあり、収納対策に努められているのが伺えます。

町税の収納状況について

町税等の収納率は県内最高位の高水準。これを維持し、住民の利益と負担の公平性を保つことが求められます。

用語解説

▶不納欠損処分

税金や学校給食費などで、さまざまな理由により回収できず、今後も徴収が見込めない場合に、徴収する権利を失わせ、決算上の損失として処理することです。

▶収入未済額

収入未済額とは、その年度に納めてもらう予定だった税金や使用料などのうち、年度末までに納付されていない金額のことです。

▶監査委員と決算審査制度

監査委員が行う決算審査は、各年度の決算書などが正しく作成され、予算が適正かつ効率的に使われているかを審査し、審査意見を町長に提出する制度です。



代表監査委員
中洲　洋輔



議選監査委員
藤井　照憲

ピックアップ議案審議

令和８年第３回定例会は、９月３日から９月18日まで開かれ、補正予算、条例制定など慎重に審議しました。

補正予算

議案 第50号 令和８年度世羅町一般会計補正予算（第２号）

賛成全員で可決

1 農業経営継続支援事業

交付金額　4950万円（国費）
事業趣旨　物価高騰が長期化し農業経営に大きな影響を及ぼしているため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し支援を行います。
対 象 者　町内農地において販売を目的として農業（耕種）を営む個人または法人
対象農地　町内の耕作農地
補助単価　10ａ当たり2000円

2 野猪等被害防止対策事業補助金

事業概要　野生鳥獣による農林水産物の被害を防止するとともに、農林水産業者の生産意欲の向上を図ることを目的とします。
補 正 額　240万円（町費）



あぜ道に設置されたワイヤーメッシュ柵

侵入防止柵設置補助の件数・事業費・補助金額（過去３年比較）

	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
	件 数	事業費(円)	補助金額(円)	件 数	事業費(円)	補助金額(円)	件 数	事業費(円)	補助金額(円)
個別農家	130	16,919,069	4,991,771	106	13,674,768	3,923,688	144	28,515,246	7,050,000
集落ぐるみ	0	0	0	4	5,422,791	5,422,791	4	9,636,000	9,636,000
合　　計	130	16,919,069	4,991,771	110	19,097,559	9,346,479	148	38,151,246	16,686,000

3 世羅高校陸上競技部駅伝復活プロジェクト

事業概要　「ＥＫＩＤＥＮ復活プロジェクト」の事業実施にあたり、世羅町企業版ふるさと納税による寄附金を、世羅高校陸上競技部後援会に対し補助金として交付します。
目　　標　全国高校駅伝競走大会での優勝回数の更新を目標として、民間指導者の招へい、スカウト活動の充実、競技力の向上などの事業を実施します。
事 業 費　310万円（企業版ふるさと納税）

流れ図及び概略図

町外企業 →（ふるさと納税）→ 世羅町 →（補助金）→ 世羅高校陸上競技部後援会



せら坊 ©世羅町

4 老朽住宅除却等事業費補助金

事業概要　安全で安心な生活環境を確保するため、また、空き地バンクへの登録を促進するため、老朽住宅の除却に要する費用の一部を補助します。

補 正 額　360万円

実績表　**老朽住宅除却等事業費補助金**

年度	補助件数	補助金額
R５	4	4,203,200円
R６	6	6,321,600円
R７	10	10,000,000円
R８	9	9,000,000円

※R８年度は、いずれも令和８年８月末時点



老朽化のため解体された住宅

5 住宅リフォーム補助金

事業概要　住宅環境の向上及び住宅投資による経済の活性化を図るとともに、Uターン・Iターン者を含めた定住を支援するため、住宅のリフォームに要した費用の一部を補助します。

補 正 額　140万円

実績表

住宅リフォーム補助事業

年度	補助件数	補助金額
R５	43	9,505,000円
R６	45	9,369,000円
R７	44	9,476,000円
R８	43	9,927,000円

※R８年度は、いずれも令和８年８月末時点

発委 第１号

賛成全員で採択

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

提出者

総務文教常任委員会　委員長　松尾　陽子

提案理由　地方公共団体には、少子・高齢化、子育て支援、人口減少対策、ＤＸ・脱炭素化、物価高騰対策に加え、自治体システムの標準化、大規模災害や新興感染症への対応など、多岐にわたる行政需要が求められている。一方、人員不足による職場の疲弊も深刻化している。

こうした状況に対応するため、「骨太方針」に基づく財源確保にとどまらず、地方財政の充実・強化に向けた、より積極的な財政措置を講じるよう求める意見書を提出することについて、議会の議決を求める。

※発委とは、委員会が議会に議案を提出し、審議を求めること

発議 第１号

賛成多数で採択

核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書提出について

提出者

議会議員　松尾　陽子

提案理由　ロシア連邦によるウクライナ侵略や中東情勢の悪化など、国際情勢が緊迫し核兵器使用への懸念が高まっている。こうした中、核兵器の開発・保有・使用を禁止し、被害者支援や環境回復を定める核兵器禁止条約（ＴＰＮＷ）の意義は一層高まっている。以上を踏まえ、核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書の提出について、議会の議決を求める。

※発議とは、議員が議会に議案を提出し、審議を求めること

令和８年 第３回世羅町議会定例会（令和８年９月）

○：賛成　●：反対

関連記事	議案番号	提出議案	採決	亀田	佐倉	矢山	宗重	佐々木	福永	向谷	上本	松尾	藤井	田原
	報告・条例の一部改正・認定・陳情・その他													
	報告第５号	株式会社セラアグリパーク第24期営業報告並びに株式会社セラアグリパーク第25期予算等の報告について	報　告											
	報告第６号	放棄した債権の報告について	報　告											
	報告第７号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	報　告											
	議案第42号	字の区域の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	世羅町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P2～7	議案第44号	令和７年度一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	令和７年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	令和７年度後期高齢者医療制度特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	令和７年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	令和７年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号	令和７年度公共下水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第13号	2027年度地方財政の確立に関する意見書の提出について（お願い）	採　択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人　事													
P10	同意第18号	世羅町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	無記名投票による表決										
P10	同意第19号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	無記名投票による表決										
P10	諮問第３号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	諮問適任	無記名投票による表決										
P10	諮問第４号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	諮問適任	無記名投票による表決										
P10	諮問第５号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	諮問適任	無記名投票による表決										
	令和8年度補正予算	３月議会で当初予算が成立した後、国の補助金等の変動や緊急やむを得ない場合などに予算の追加や補正を行うこと。												
P8～9	議案第50号	令和８年度一般会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号	令和８年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	令和８年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号	令和８年度介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	令和８年度介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	令和８年度公共下水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号	令和８年度一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	委員会からの発委	委員会が議会に議案を提出し、審議を求めること。												
P9	発委第１号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員からの発議	議員が議会に議案を提出し、審議を求めること。												
P9	発議第１号	核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書提出について	原案可決	●	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○

人　事

固定資産評価審査委員会委員の選任を同意しました。

森（もり）　健（けん） さん

任期：令和８年10月１日～令和11年９月30日まで

教育委員会委員の任命を同意しました。

堺（さかい）　秀裕（ひでひろ） さん

任期：令和８年11月18日～令和12年11月17日まで

人権擁護委員の推薦についてを適任としました。

松尾（まつお）　明子（あきこ） さん

荒谷（あらたに）　誠（まこと） さん

國藤（くにとう）　澄江（すみえ） さん

任期：令和９年１月１日～令和11年12月31日まで



せら坊 ©世羅町

議会で質問した
DX事業はどうなった？

DXハッカソン※

町のお店や農家などの困りごとを、1泊2日、デジタルの力で解決する


困りごとの聞き取りから始まった初日


なごやかな雰囲気で進んだ作業


2日目、各チームが成果物を発表！！


ハイタッチで喜び合った優勝チーム


納品後の運用についても丁寧に説明する参加者

9月19日から20日にかけて、世羅の宿ひがしで「DXハッカソン」が開かれました。全国から集まった参加者が1泊2日の合宿で、町内のお店や農家など4者の困りごとの解決に取組みました。

この取組みは、世羅町移住・交流促進協議会と株式会社デイトラが進めるもので、町外の人と世羅町をつなぐことを目的としています。

参加者は広島県内のほか、北海道や東京、大阪、愛知など、各地から集まりました。事業者が持ち込んだのは、「ホームページを作りたいが、進んでいない」「SNSの発信に自信がない」「お客様の情報をスマートフォンやパソコンで管理したい」といった日ごろの困りごと。初日に聞き取りと制作を進め、2日目に成果物を仕上げて引き渡しました。

相談した皆さんの声

(株)ミライズフーズ
代表取締役　中川さん



ホームページを作ろうと思いながら後回しにしていました。思いをしっかり聞いて形にしていただき、責任を持って使おうという気持ちになりました。

大見自治センター
地域おこし協力隊　片山さん



インスタグラムでの発信に自信がありませんでしたが、困ったときの対応まで資料にしていただき、心が軽くなりました。

参加者の声

えりさん（岡山県）



世羅町を訪れたのは初めてでした。会場になっている元の学校が大切に使われていて、昔のものを大事にする地域だと感じました。

まみさん（兵庫県）



ハッカソンがあると知って、絶対に参加したいと思って応募しました。これを機会に世羅町を見て回りたいです。

主催者からのメッセージ

世羅町移住・
交流促進協議会
会長　徳光（とくみつ）　紗代（さよ）さん



今回のハッカソンで、地域の「困った」を「できる」に変える力を実感しました。この出会いを未来につなげ、世羅町をもっと元気にしていきます！

株式会社　デイトラ
代表　大滝（おおたき）　昇平（しょうへい）さん



1泊2日で本当に形になるのか、正直ドキドキしていましたが、事業者の皆さんの笑顔を見て「世羅町で開催できて良かった」と心から思いました。

世羅町移住・交流促進協議会＝今回のハッカソンを、株式会社デイトラとともに主催した団体。
ハッカソン＝「ハック（hack）」と「マラソン（marathon）」を合わせた言葉。短い期間に集まり、一気に形にするイベントのこと。
DX＝デジタルトランスフォーメーション。パソコンやスマートフォンなどの技術を使って、仕事のやり方やサービスをより良く変えていくこと。
SNS＝インターネット上で写真や文章を発信し、人とつながる仕組み。インスタグラムやフェイスブックなど。

町の施策や現状をチェック！

鳥獣被害対策の状況を調査

産業建設
事務調査

9月10日、産業建設常任委員会にて捕獲頭数、農作物被害届の推移及び有害鳥獣処理施設の利用状況などを調査しました。

令和８年度から捕獲報償金が増額されたこともあり、シカ銃猟以外は1.5倍～２倍程度に捕獲数が増加しています。報償金増額は、従事者の経済的負担の軽減と、捕獲頭数の増加を目的としており、効果が表れたと考えられます。

令和５年～令和８年　捕獲状況（シカ、イノシシ）

種類	令和５年度		令和６年度		令和７年度		令和８年度	
	４～７月	８～３月	４～７月	８～３月	４～７月	８～３月	４～７月	**７年度比**
イノシシ（銃）	35	106	22	71	25	108	67	＋42
イノシシ（わな）	128	226	136	479	105	239	240	＋135
（小計）	163	332	158	550	130	347	307	＋177
シカ（銃）	20	29	26	52	36	46	26	－10
シカ（わな）	186	550	205	830	228	704	537	＋309
（小計）	206	579	231	882	264	750	563	＋299
合　計	369	911	389	1432	394	1097	870	＋476



捕獲数が大きく増加した箱わな

被害報告件数

	令和５年	令和６年	令和７年	令和８年
甲山地区	16	32	22	37
世羅地区	35	22	48	58
世羅西地区	22	33	15	21
合　計	73	87	85	116

※令和８年度は、８月25日時点での件数

被害報告の件数の推移

実際に届け出があった被害報告の推移です。令和８年から急激に増加しています。シカ被害の増加と、一時減少していたイノシシの生息数の増加が原因とみられます。

Q　特定の地域で被害が増えている原因や、実態を把握していますか。

A　防護柵等未設置場所での新たな被害や、設置済みの場所でも柵の飛び越えなどで侵入するケースがある。動物が新たな侵入ルートを探していることから、町全体で見回りや防護対策を進める必要があります。

有害鳥獣処理施設の利用状況

Q　以前の現地調査で指摘された施設の課題について、可能なものから早急に改善・対応して欲しいとの声が出ていますが。

A　捕獲報償金の引き上げを優先したため対応が遅れました。冷蔵庫内の搬入作業を改善するための棚や簡易リフトの導入を検討しており、大型冷蔵庫についても、可能であれば来年度予算への計上を目指します。

有害鳥獣処理施設の利用状況（搬入頭数、稼働状況）

	令和５年	令和６年	令和７年	令和８年
搬入頭数	882頭	1329頭	984頭	478頭
稼働状況（利用回数）	762件	1062件	833件	379件

※令和８年度は、７月末時点での件数

今後の対策

町としては、捕獲従事者の後継者確保に向けて、狩猟免許取得者への登録・活動を促すとともに、集落単位での侵入防止柵の設置を進め、現場の声や被害状況を踏まえながら、地域と連携した鳥獣被害対策を推進していきます。

委員長　コメント



捕獲報償金の引き上げなどにより捕獲活動の強化が図られています。今後も施設や設備の改善を進め、実施隊員の負担軽減と安全で効率的な捕獲活動ができる体制づくりを期待します。

産業建設
常任委員会
上本剛委員長



せら坊 ©世羅町

総務文教
事務調査

高齢者施設の入所者待機状況を調査

９月９日、総務文教常任委員会で、町内の高齢者施設の入所待機者数や平均待機期間、町の対応などを調査しました。

町内の高齢者施設の入所待機者数（施設別）　（単位 人）

施　設	定 員	空 き	待機者数
特別養護老人ホーム	134	0	34
介護老人保健施設	142	0	9
特定施設入所者生活介護	50	0	5
認知症対応型共同生活介護	36	0	2
地域密着型介護老人福祉施設	10	0	7
有料老人ホーム	9	7	0

（注）重複申し込みを含む



担当課から説明を受ける委員

待機者の平均待機期間

申込をしても直ちに入所を望まない方や、疾患などの状況により入所が困難な方もあり、待機期間は、事情により大きく異なります。地域包括支援センターや事業所では、本人の状態と施設の受け入れ条件が整えば、入所は速やかに実施されているとの報告がありました。

待機者への町の対応と今後の方針

ケアマネジャーによる相談、事業所との連絡調整や情報提供を行い、円滑な入所につながるよう支援しています。引き続き、事業所との連携を深めて調整を進め、ショートステイやデイサービスを利用して待機に備えていただくよう支援します。

委員長　コメント



少子高齢化が進み高齢者福祉も、老老介護やケアマネジャー・ヘルパーの人材不足など、多くの課題を抱えています。関係機関と連携しながら安心して暮らし続けられる支援の充実を期待します。

総務文教
常任委員会
松尾陽子委員長

広報広聴
行政視察

福岡県須恵町・大刀洗町を訪問！

８月７・８日、全国広報コンクールで上位入賞されている２町を訪問しました。

福岡県須恵町では、主に紙面づくりと住民相互の情報発信について、福岡県大刀洗町では、議会全体で広報を共有すべき点などを学び、相互研修を行いました。



スライドを使って、広報の取組みを詳しく説明していただきました。

宇土市・瀬戸内市から広報研修で来町！

７月21日熊本県宇土市、８月５日岡山県瀬戸内市の２市議会から広報研修の申込があり、本町で相互研修を行いました。スライドを用いて、本町の議会だよりの編集・製作の進め方や、ＡＩを活用した取組みについて紹介しました。



世羅町の取組みを紹介し、意見交換を行いました。

インクルーシブ教育
～ともに学び　ともに育つ～

総務文教
行政視察

７月２日、大阪府豊中市の東丘小学校を訪問し、障がいのある児童・生徒と障がいのない児童・生徒がともに学ぶインクルーシブ教育の先進的な取組みを視察しました。



インクルーシブ教育の先進事例を調査し町の施策へ

豊中市
豊中市立東丘小学校

インクルーシブ教育を先進的に取り組まれている豊中市は、昭和53年に市独自の「障害児教育基本方針」を策定されています。

障がいのある児童･生徒が、支援学級に在籍しながら通常学級で一緒に学び、必要に応じて個別指導も行われています。

インクルーシブ教育の目的

共生社会の形成と、障がいのある子どもの可能性が最大限に伸びることを掲げ、「ともに学び　ともに育つ」教育を進められています。また、地域の子どもは地域の学校に就学できるよう取組みを進められています。

支援体制と取組み

支援学級の担任と通常学級の担任との連携は欠かせないため、支援チームを組んで取組みを進められています。

- 入り込み…支援学級の担任が通常学級の中に入って指導する。
- 市費による支援教育サポーターの配置。
- 通級指導教室…習熟度に合わせた１対１の指導。
- 個別の指導計画…通常学級での学びを大事にしながら、必要に応じて学習内容や目標を変更。
- 市立豊中中央病院と協定…医療的ケアが必要な学校に看護師を派遣。
- 作業療法士の巡回指導・相談。
- 豊中市内での人事異動…研修を積んだ先生が他市町に異動しない体制。
- 学校全体での専門性の確保…支援教育研修・支援コーディネーター研修など。



一人一人に寄り添う指導体制

課　題

- 通常学級での自立活動支援は、一律ではなく難易度が高い。
- 先生方は多忙で、連携体制に苦慮。
- 安易な支援学級希望の増加。



「誰もがともに学べる」を実践している教育現場



せら坊 ©世羅町

一般質問

町政を問う

８議員が質問しました

第３回定例会の９月３日・４日に一般質問を行った８議員の質問内容を紹介します。

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は１人30分以内で、答弁時間は含みません。

動画配信は２次元コードを読み取って下さい。

YouTubeチャンネル登録をお願いします。
※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

訪問介護

矢山（やま）　靖（やすし）議員



Q 介護の最前線の声をどう反映するのか

A 必要なサービスが届く体制を確保

矢　山　現在の訪問介護体制の評価は。

福祉課長　令和７年度から事業所の廃止や訪問介護職員の高齢化などにより、需要に対し供給が追いつかない状況である。このままでは、利用者が希望する曜日や時間帯へのサービス提供に応えることができず、さらに深刻な状況になると予想している。

矢　山　人員の不足状況は。

福祉課長　町内の訪問介護員は３事業所で20人、８月の利用者は118人である。不足人数を示すことは困難だが、現場は余裕のない状況である。

矢　山　訪問介護の供給不足の改善は。

福祉課長　第９期計画策定時には訪問介護事業所が５事業所あり、住民の介護ニーズには十分充足すると見込んでいた。しかし、令和７年度から相次いで２つの事業所が廃止・閉所した。第10期計画においては、訪問介護員やヘルパーの離職を防ぎ、定着に向けた対策と併せ、地域や民間で支えるサービスの構築を急ぐ必要がある。

矢　山　現場の声を計画にどう反映するのか。

福祉課長　人材不足や業務過多、低賃金、人間関係などは放置すれば離職が進み、介護ケアの質の低下を招く深刻な問題と認識している。事業所の意見や職場実態を、改善に向けた施策へ反映できるよう委員会で協議する。今年度２回開催し、完成までにあと３回を予定している。

矢　山　国の介護報酬の見直しを待つだけでなく、町独自の具体策が必要ではないか。

町　長　現場の声を改めて聞き、利用者にとって何が一番いいのかを考えながら進める。必要なところに必要なサービスが届く体制を確保できるよう、今後の計画の中でしっかり対応を検討していく。



介護施設（イメージ写真）

議員コメント

現場ヒアリングで聞いた切実な声と実態。町の答弁からも需要に対し供給が追いつかず、現場に余裕がない現実を強く痛感した。

鳥獣捕獲

上本（かみもと）　剛（つよし） 議員



Q 鳥獣被害対策の持続可能な体制構築は

A 日常的な管理や搬入支援体制を検討

上　本 実施隊員が大型有害鳥獣の搬出、罠の設置・巡回は大きな身体的負担と危険を伴う。現場の安全確保と活動継続のための町の支援は。

産業振興課長 大型有害鳥獣捕獲時の搬出や運搬など、一人での対応が困難な場合は、担当職員が現場に帯同し連携して支援している。今後も現場の意見を踏まえ、安全で持続可能な活動を支援していく。

上　本 広範囲にわたる防護柵の見回りや修繕は、農家や実施隊員にとって負担となっている。地域全体での防護ライン構築や、修繕作業の効率化・省力化に向けた町の支援体制は。

産業振興課長 広域的な防護柵は国の事業を活用して整備しており、集落に草刈りや点検などの維持管理をお願いしている。修繕資材費も、町の「野猪等被害防止対策事業」を活用することで、集落の負担軽減を図っている。

上　本 見回り作業の効率化に向けたＩＣＴ技術の導入は。

産業振興課長 県が行った事業の検証結果を踏まえ、町への効果的な導入方法を検討していく。

上　本 捕獲個体の搬出・搬入や解体処理施設の管理が、実施隊員の負担となっている。職員による支援にも限界がある中、施設管理や搬入支援を業務委託するなど、実施隊を支える体制づくりは。

産業振興課長 捕獲頭数の増加により、処理施設の管理を職員だけで担うことは難しくなっている。現在は職員が週２回の清掃などを行っているが、今後は施設の日常的な管理や搬入支援体制の確立に向け、業務委託を検討する必要がある。



改善が望まれる解体処理施設

議員コメント

実施隊員の負担軽減と安全確保のため、処理施設の管理や搬入支援などを業務委託し、持続可能な支援体制の構築が重要。

子ども議会

藤井（ふじい）　照憲（しょうけん） 議員



Q 主権者教育の充実を図るべきでは

A 選挙や政治を自分事と捉える教育の実施

藤　井 投票率が低迷する若者への政治参加を推進する方策としての、主権者教育の現状と課題認識は。

教育長 主権者教育の基本的な知識や情報などの基礎は身に付けているが、学校卒業後の個人の行動までは評価しづらい。

藤　井 令和５年12月の一般質問への答弁では、「子ども議会」で議場体験するだけでも大きな意義があると述べられたが、町長の考えは。

町　長 次世代を担う人材が育つ良い場面と思っている。ただその場面を作るのは教育現場である。

藤　井 主権者教育の根幹は、学びの中で選挙や政治を自分のものとして関わる教育だが、もっと大きな社会との関わりを取り入れるべきでは。

学校教育課長 選挙や政治を自分事として捉えさせるという教育は非常に大切である。

藤　井 子ども達を、ＳＮＳなどによるトラブルの被害者にも加害者にもさせない教育が必要ではないか。

学校教育課長 世羅町ＧＩＧＡスクールガイドラインの周知と、学習用端末使用の手引きも配布し、学習に取組むときのルールを定めている。

藤　井 過去の一般質問への町長答弁を再確認すると、「子ども議会」に対して、「やる気・本気・元気を出せということで、私としてはやりたい」と述べているが、この発言に変わりはないか。

町　長 できていないというのは反省点であるが、何らかの形でやりたいという思いは変わりなく持っている。政治を担う者として、皆様と共に「子ども議会」など、政治を自分のものとして関わることを知っていただき、広めたいと考えている。



子ども達に貴重な体験となる「子ども議会」（イメージ写真）

議員コメント

公教育に主権者教育ははめ込まれているが、ＤＸ時代における変革は足踏み状態で、取組みは道半ばのように感じた。



せら坊 ©世羅町

防災

松尾（まつお）　陽子（ようこ） 議員



Q 避難所の環境改善の取組みは

A 費用対効果やDX推進などを調査し検討

松　尾 内閣府は、能登半島地震などの教訓を踏まえ、※スフィア基準をもとにした避難所の生活環境改善を強化した。平時にイベントなどで活用できるトイレトレーラーは、災害関連死の防止や環境改善に有効である。国の補助金やクラウドファンディングを活用して導入した自治体もある。本町で導入する考えは。

※スフィア基準…災害や紛争時に、避難者が人間らしく尊厳を持って生活するための国際的な最低基準

町　長 トイレトレーラーは、災害時の衛生環境の確保だけでなく、平時のイベントにも活用できる有用な設備と認識している。導入費用や維持管理費などの負担、導入自治体の稼働状況や費用対効果、財源などを調査・検証した上で検討したい。

松　尾 政府が進める「災害対応車両登録制度」へ積極的に取組むべきではないか。

総務課長 本制度は、キッチンカーやトイレトレーラー、ランドリーカーなどを平時から登録していただき、災害発生時に被災地の要請に応じて活用する仕組みである。本制度の活用に加え、町内の車両所有者への協力依頼や、必要に応じた車両のレンタルなどにより運用したいと考えている。

松　尾 マイナンバーカードを活用した避難者受付や安否確認、災害者支援の迅速化などが全国で進められている。本町でも受付アプリを導入する考えは。

総務課長 受付アプリは、受付の迅速化や入力ミスの防止、被災者情報の正確な把握に有効と認識している。一方、端末や通信環境、費用などの課題もあるため、ＤＸ推進と併せて先進事例を調査し、低コストで利用者の負担が少ない仕組みの導入を検討していく。



多目的に使用できるトイレトレーラー

議員コメント

酷暑、豪雨、地震や台風の頻発など、異常気象が続く中、いつ災害が起きてもおかしくない状況。平時の準備は、まったなし。

集落維持

向谷（むかいだに）　伸二（しんじ） 議員



Q 集落維持と地域活動の担い手確保は

A 実態把握や「地域のあり方」の議論を推進

向　谷 住民自治組織・自治センターなどの担い手不足を解消するための支援策は。

企画課長 広島県の支援を受け、地域ごとに現状や課題を把握するとともに、将来に向けた話し合いを進めている。今後も行政と地域が一体となって、自治組織や地域活動のスリム化・効率化を図るとともに、地域の出身者などに地域活動へ関わってもらう取組みを進めていく。

向　谷 地域外の人材・団体などを活用し、集落機能を維持・再構築する考えは。

企画課長 地域外の方々が、一時的または継続的に地域に関わることで、新たなネットワークが生まれ、地域住民との交流や協働が深まることが期待される。こうした関係人口の創出が、地域の活力向上や集落機能の維持・再構築に大きく寄与するものと考えている。

向　谷 地域おこし協力隊を、個々の集落や自治区を単位として配置するだけでなく、町全体あるいは一定のエリアを活動単位とし、複数地域に共通する課題に取組んでもらう考えは。

企画課長 地域おこし協力隊は、隊員の起業・定住を通じて新たな隊員を呼び込む好循環が期待できるが、３年間の任期終了後の自立は容易ではない。行政支援を受けながら活動する事例もあるが、町としては貴重な人材確保の手段として、今後も制度を有効活用していく。

向　谷 持続可能な地域運営に向けた今後の具体的な取組みは。

企画課長 関係団体の代表者による「地域のあり方検討委員会」を立ち上げ、地域の今後のあり方について議論を始めている。今後も、各住民自治組織が地域での将来像を確立するための実態把握や、地域での話し合いを支援するとともに、研修会の開催などを通じて、これからの地域のあり方を地域とともに考えていく。

議員コメント

まず地域の現状や課題を見つめ直し、行政と地域が力を合わせ、持続可能な地域運営につながることが重要である。

広告収入

佐倉（さくら）　悠希（ゆうき） 議員



Q 広告事業（町広報、HP等）の今後は

A 広告の募集ページをまとめ問い合わせしやすくする

佐　倉 広告事業の種類と収入実績は。

町　長 令和7年度決算で71万2500円である。内訳は案内板・デジタルサイネージ38万8500円、ごみ出しカレンダー12万円、広報せらとバナー広告が各８万4000円、公用車３万6000円。

佐　倉 現状の課題は。

財政課長 広告収入が伸びない要因は、媒体が限られること、掲載料が少額であること、募集しても申し込みに至らない場合などがある。媒体を増やし、料金を適切に設定することが課題である。

佐　倉 紙媒体は、事業者からの申し込みを待つだけでは掲載につながりにくいが、行政に営業活動を求めるのは現実的ではない。ホームページで案内されているのは広報せらとバナー広告だけである。まずは問い合わせ先を分かりやすくしてはどうか。

財政課長 ホームページに広告の募集ページをまとめることを検討する。申し込み先が分かりやすくなるよう、情報を整理する。

佐　倉 広報せらやごみ出しカレンダーは、紙媒体で広告が入る部分がデジタル版では空白になっている。広告の料金表や町の情報を載せて、有効活用してはどうか。

企画課長 町の情報を掲載するなど、検討する。

佐　倉 継続掲載の割引はバナー広告にしかない。他の媒体にも広げてはどうか。

企画課長 県内では紙媒体の長期継続割引の事例は把握していない。府中市には、広報誌とホームページの両方に掲載すると減額する取組みがある。他の自治体の事例を参考に検討する。

佐　倉 ネーミングライツの導入は。

財政課長 自主財源を確保する手段として有用だと認識している。現時点で具体的な検討には至っていないが、導入を検討する。

副町長 今ある広告の仕組みを十分に活用できていない。まずは共通の問い合わせ先を設け、ホームページでの案内やデジタル版の空白部分の活用も含めて取組む。

議員コメント

広告を掲載する事業者側の目線が大切です。まずは問い合わせ先を分かりやすくするところから進められると受け止めました。

DX推進

佐々木（ささき）　浩康（ひろみち） 議員



Q 町のDX推進の方向性と考え方は

A デジタル化と地域のつながりを両立

佐々木「逆生産性」「根源的独占」「コンヴィヴィアリティ（自立共生）」の視点を踏まえ、デジタル化が住民同士のつながりや対面での関わりを損なうことのないよう、地域コミュニティとの共存をどう担保していくのか。また、本町が進めるＤＸ推進について、効率化・利便性向上の先にどのような地域社会の姿を目指すのか。

町　長 行政サービスの効率化と、住民利便性向上のためデジタル技術の活用を推進する一方、地域コミュニティにおける対面交流を損なわないよう慎重に進める。特定の大規模事業者への依存を避け、複数の選択肢を確保するとともに、デジタル技術と地域社会が補い合う関係を築くことを目指す。

佐々木 一人一台端末の整備や生成ＡＩの進化が進む中、児童生徒の思考力や学ぶ力を育む観点から、町はどのような方針でＩＣＴの活用に取組んでいるのか。また、特定の機器やソフトウェアへの過度な依存を避け、多様な学びの手段を維持する考えや、家庭との連携は。

教育長 端末は学びを進めるための道具と位置付け、生成ＡＩへの安易な依存を避け、対話や体験的学習を組み合わせた指導を各校に行っている。家庭への働きかけについても今後進めていく。

佐々木 ＡＩの進展により新薬開発のスピードが上昇し、高額な薬剤も増加している。本町の国民健康保険財政において、高額薬剤の使用実績や給付費への影響を町は把握しているのか。

健康保険課長 町内における高額新薬の利用実績は、直近３年間ない。県全体の高額薬剤の利用状況が、翌年度以降の保険税率上昇につながると認識している。国・県の財政支援制度を活用しながら、持続可能な国保運営に努めていく。

議員コメント

イヴァン・イリイチの３つの概念を用いて、技術・制度の進歩で、我々が失うものに警鐘を鳴らした。



せら坊 ©世羅町

地域運営

田原（たはら） 賢司（けんじ） 議員



Q 持続可能な地域運営をどのように描いていくのか

A 地域の声を反映し支援策を検討

田　原 行政として地域運営の現状を分析し、制度の見直しをどのように進めていくのか。

町　長 大見振興協議会では、令和６年度から「地域で暮らし続けられる集落づくり」を目指し、住民の意見を聴く場づくりやアンケート調査を進めてきた。町も全地区を対象に集落活動調査を実施し、地域の困りごとや行政への要望を把握し、結果を共有した。令和８年２月には、広島県と町が地域づくりシンポジウムを開催し、行政と地域が将来像を共に考える場を設けた。今後も地域と協働し、必要に応じ制度の見直しを検討する。

田　原 小規模集落の実情を把握し、過度な期待や負担が生じないよう、どのような支援や見直しを検討しているのか。

企画課長 人口減少と高齢化により、小規模集落では担い手不足が深刻化し、行事や地域活動の継続が困難となっている。町は担い手の発掘・育成、負担軽減の仕組みづくり、事業の見直しなどが重要と捉え、地域の声を丁寧に聴きながら支援策を検討していく。

田　原 住民の負担感の見える化と政策反映は。

企画課長 住民の負担感は地域ごとに背景が異なり、体系的な把握は容易ではない。町は自治組織会長会議や自治センター長会議に加え、住民自治組織へのヒアリングや実態調査を継続し、地域課題を把握する機会を確保する。行政が一方的に施策を押し付けるのではなく、住民が課題を共有し、話し合いながら解決策を模索する姿勢を重視している。

田　原「縮減を前提にした町の姿」を共に描くプロセスは。

企画課長 町は令和７年度に第３次長期総合計画及び創生総合戦略を策定し、持続可能な町づくりを進めている。計画の推進にあたっては町民参加のワークショップで意見を反映し、定期的な評価と見直しを行いながら、変化に対応できる体制づくりを進めている。

議員コメント

高齢化に伴い、地域力の減退を強く感じる。地域の現実を直視し、持続可能な仕組みが必要。

町へのひとこと

世羅町観光協会
会長 佐古（さこ） 淳子（じゅんこ） さん



町内各組織が連携し、町の発展に貢献

世羅町の観光を語るにあたり外せないものは、道の駅世羅だと思っています。

この施設は、観光協会を中心に運営をしており、その存在は町にとって重要なものだと考えています。

運営スタッフの努力は目を見張るものがあり、感銘を受けております。

町内のあらゆる組織が、それぞれに大変な努力をされ、この町の発展に大きく貢献されていると思います。

その一つ一つの点が、線で繋がってきていると感じています。

この町は、まだまだ伸びると確信しています。

若者の活躍を後押しし、世羅町が近隣市町から羨ましがられる町を目指したいと思います。

ふりかえり

世羅町議会議長
髙橋（たかはし） 公時（こうじ）



早いもので本年 11 月で議員の任期も半分の２年が経過しました。

議会報告会・意見交換会を「議会のなり手不足を解消するためには、何が必要と思いますか」をテーマに 10 月 11 日、17 日、18 日と本年度は各３地区で開催しました。

地域の行事と重なるなど参加者は３会場で延べ 14 人にとどまりましたが、ご参加いただいた方からは、限られた時間の中、議会・議員の役割への思いを述べていただきました。これらの貴重なご意見については今後議会内で確認し、なり手不足解消も含めた議会での取組みへ活かしてまいります。

世羅高校創立130周年記念式典





世羅高校
平野　剛 校長

創立130周年記念式典に際し、御来賓や同窓会の皆様に御臨席賜り、心より御礼申し上げます。御支援に感謝し、今後も地域に根ざした学校づくりに努め、未来へと襷を繋いでまいりますので、よろしくお願いいたします。

表紙紹介

広報メンバーで稲刈りを行いました。農業は町の暮らしを支える大切な産業ですが、米の概算金の下落や鳥獣被害、天候不順による収量減少など、厳しい状況が続いています。今回の稲刈りを通して、世羅のおいしいお米ができるまでの苦労と農業の大切さを改めて実感しました。これからも地域の皆さんと一緒に農業を支えていきたいと思います。



議会広報にご意見をお寄せください。

- 今号でよかった内容
- 取り上げてほしい内容
- 議会広報に対する意見・感想

議会を傍聴しませんか

傍聴方法

- 本会議の受付所　役場２階　議場前　傍聴人受付票に氏名などを記入
  ※入退場自由／定員28人　※車いす用リフトあります。

12月議会　令和８年第４回定例会（予定）

※日程は変更になる場合があります

日	月	火	水	木	金	土
12/6	7	8	9	10 本会議 （一般質問）	11 本会議 （一般質問）	12
13	14 本会議 （議案審議）	15 予備日	16 産業建設常任委員会	17 総務文教常任委員会	18 議会改革調査特別委員会 議会広報広聴常任委員会	19
20	21 予備日	22 本会議 （最終日）	23	24	25	26

※開会は午前９時からの予定です。

YouTubeでライブ配信をしています。ぜひご覧ください。

議会広報広聴常任委員会
委員長　向谷　伸二　　副委員長　松尾　陽子
委　員　亀田　知宏・佐倉　悠希・矢山　靖・佐々木浩康

世羅町議会ホームページ
右の2次元コードを読み取ってアクセスしてください

議会だより せら
【９月定例会】
■発行責任者／世羅町議会議長　髙橋　公時　　■編集／議会広報広聴常任委員会
■事務局／広島県世羅郡世羅町大字西上原123番地1　☎0847-22-4511　FAX0847-22-1154
メールアドレス　gikai@town.sera.hiroshima.jp